

Aljezur

について



「海」と「山並」で囲まれたアルジェズールの町は、この2つの環境要素の影響をその風景に感じます。沿岸部は砂浜と砂丘を抱きかかえるようにそびえる高い崖が特徴で、内陸部は植生に覆われた水平線の連続です。両者の間には肥沃な谷と湿原があり、古くから耕作が行われています。この町を旅することは、心の安らぎを取り戻し、静けさを再発見する機会です。

アルジェズールはビセンティン（Vicentina）海岸にある小さな町で、アルガルヴェ（Algarve）の田園建築の典型的な家々が立ち並び、その外壁の窓周りともぐさは色付けされ、白壁を引き立てています。町の曲がりくねった狭い通りは、訪問者をアラブの旧市街の遠い昔に連れて行ってくれます。

丘の頂上にある城壁は、ムーア人とキリスト教徒との戦いの象徴である歴史的な過去を思い起こさせます。10世紀には、アルジェズールの町はほとんど島でした。そのため、アラビア語でアル・ヤジラ（al-Yazira、島）という名前が付けられました。この町は、かつて旧アルモラヴィッド帝国の河川港であったリベイラ・ドウ・アルジェズール（Ribeira de Aljezur）に隣接していました。